

二〇〇八年度国語教育研究会第一回全県研究会

教室から物語「源氏物語」の時空に

二〇〇九年一月三十一日(土)
於 ホテル信濃路

一日 時 二〇〇九年一月三十一日(土)

一〇時三〇分～十五時三〇分

二場 所 公立学校共済 ホテル信濃路

(長野市岡田町一三二・四 TEL 〇二六・二二六・五二二二)

三内 容

◎ 講演「構造から見るうた・語り」

講 師 藤井 貞和氏 (東京大学名誉教授)

◎ 授業報告 県内教諭依頼中

四日 程

・ 受 付 一〇時 ～ 一〇時三〇分

・ 開会行事 一〇時三〇分～一〇時四〇分

・ 講 演 一〇時四〇分～十二時二〇分

・ 昼食休憩 十二時二〇分～十三時二〇分

・ 特別報告 十三時二〇分～十四時

・ 意見交換 十四時一〇分～十五時三〇分

■講師プロフィール 藤井 貞和 (ふじい さだかず)

一九四二年生まれ。立正大学教授、東京大学名誉教授。東京生まれ。詩人、国文学者。

一九七二年、『源氏物語の始原と現在』で注目される。二〇〇一年、『源氏物語論』で角川源義賞。古典研究のなかで、実証を重んじながらも、旧来の実証主義の弱点を克服し、読者にも知的好奇心を喚起し続け、高く評価されている。また、詩人として、二〇〇二年、『ことばのつえ、ことばのつえ』で藤村記念歴程賞と高見順賞受賞。二〇〇六年、『神の子犬』で現代詩人賞受賞。一九九一年に藤井が書いた湾岸戦争詩「アメリカ政府は核兵器を使用する」、「自分も死にます、この戦争のために、と」をきっかけに、湾岸戦争詩論争が展開された。この論争は、飯島耕一らの定型詩論争とともに、九〇年代の現代詩を規定することになったといわれる。

主な著書に、『物語文学成立史』(東京大学出版会)『平安物語叙述論』(東京大学出版会)『源氏物語論』(岩波書店)『自由詩学』(思潮社)『国文学の誕生』(三元社)『古文の読みかた』(岩波ジュニア新書)

五 参加・申し込み

- ① 各校の代表者、支部研究会長のみなさんは、会員の皆さんへの参加の呼びかけをお願いします。
- ② 藤井先生は、午後の授業報告にも参加され、意見交換にもご参加いただく予定になっています。
- ③ 資料準備等の都合があります。裏面Fax用紙にて、左記事務局宛、一月二十二日(木)迄にご報告ください。
- ④ 国語研究会のホームページ (<http://naganokokugo.la.coocan.jp/>) から申し込みます。

六 問い合わせ 事務局

小山 坂城高校国語科 TEL 0268-82-2112 Fax 81-1304 携帯 090-7807-4397 Email naganokokugo@nabr.nifty.com

